



# Hi! from SAGA

Spring 2020 vol.3

By  
SUISA ニュースレターチーム  
& 佐賀大学国際交流推進センター



## 日本でのコロナウイルスの状況について

日本では政府は国民に家に居て不要不急の外出を避けることを要請しています。



## コロナウイルスの状況下における佐賀大学の遠隔教育

佐賀市では緊急事態宣言が緩和されたが、佐賀大学では感染拡大を防ぐために全ての学生に大学の入構を禁止しています。



## コロナウイルス状況下での留学生の状況

私の場合、オンライン学習はうまくいっています。トラブルもそんなに多くはありません。オンライン授業はコロナウイルスに打ち勝つための良い方法です。



## 世界でのコロナウイルスの状況

コロナウイルスの状況を佐賀大学に在籍していた留学生（オーストラリア、セネガル、タイ、リトアニア）に報告してもらいました。

佐賀大学国際交流推進センター

+81-952-28-8169

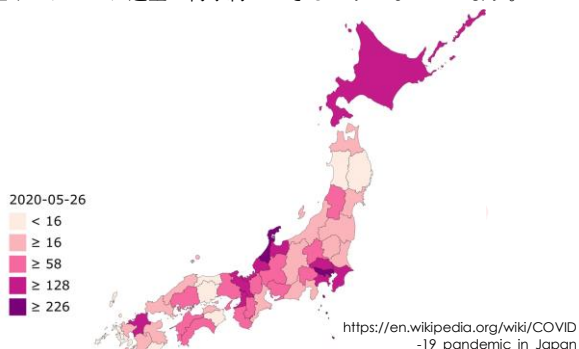
ryugaku@mail.admin.saga-u.ac.jp

<http://www.irdc.saga-u.ac.jp/>



## 日本でのコロナウイルスの状況

「あなたの国でのコロナウイルスの状況はどうか。」  
残念なことにこれが、私が外国人の友達や母国にいる友達と話すときの挨拶になりました。しかしながら、この危機的な状況下で、外国人の友達と もっと話すようになりました。大変な時期に関わらず、このように多くの人が互いを気かけられるのはとても喜ばしいことです。互いに連絡を取ることがないにしても、友達を思いやることや世の中全体で人との距離を取ることを心がけることが1番の最善策であると思います。  
コロナウイルスの感染が拡大することを防ぐための多くの対策があります。まず、福岡を含む緊急事態宣言が出されている場所に行かないこと。これを書いている日(4月29日)は、九州での感染者数は962人になりました。最も多い感染者数は福岡県の629人です。だから、福岡や東京、埼玉、千葉、大阪、兵庫に行かないことが大切です。もし、すでにこれらの場所に行くことを計画しており、それを中止したいと考えているなら、いくつかの航空会社やホテルでは返金が再予約ができるようになっています。



### 日本でのコロナウイルスの状況

次の対策は、家にいるということです。現代において、それは難しいことかもしれません。しかしながら、以前と同じように、ビデオ通話を通して友達と連絡を取ることができるし、もしパーティーを開催したいのであれば、それをオンラインですることもできます。加えて、新しい料理に挑戦することで自分の腕を上げ、オンラインで友達にその料理を見せることも楽しみ方の1つかもしれません。最後に、この時期は、興味があることや日本語を勉強するのに最適な時期です。ずっと読む機会がなかった日本語能力試験(JLPT)のための本を使用して再度勉強し直してみませんか。

もし、必要物資調達のためにスーパーや薬局に行く必要があるなら、次のことを覚えてください。混雑していない時間帯に行き、そしてマスクをつけるということ。また、外出したら、どのスーパーも提供している手指消毒剤を使い、家に帰ってきたら石鹸で手を洗うということ。また加えて言うなら、オンラインで食事を注文したり、家で仕事をしたりするなど通常とは別の選択肢を取ることを。これらが感染を防ぐための対策としてあげられます。

もし、コロナウイルスに感染していると考えられる場合には、病院ですぐに検査を受ける事は不可能かもしれないので、まずは帰国者・接触者相談センター(0952-30-3622)に連絡とってください。

「リトアニアでは、一度に2人までしか外出できません。もし3人で出かけてしまえば、パトロール中の警察に捕まってしまう、3人全員が罰金として250ユーロ払わなければなりません。スーパーでも、1度に入ることができる人は制限されています。」

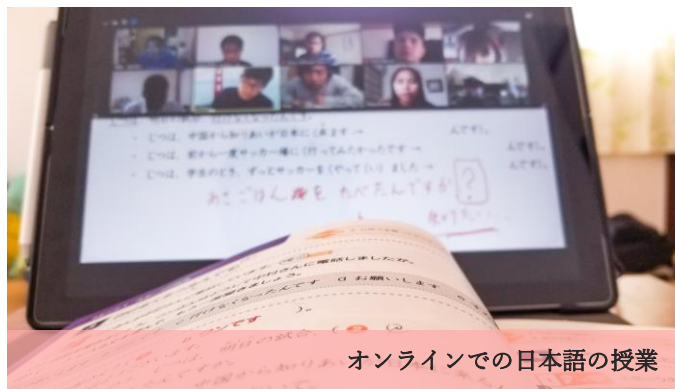
これは私と同じ授業をとっていた友達が教えてくれた、リトアニアでのコロナウイルスの対策です。このように、多くの国では、コロナウイルスを根絶させるために厳しい対策が取られています。そして、多くの国では状況が良くなりつつあります。リトアニアを離れて、タイでは、政府が感染者数を減らすための隔離政策を緩和することを最終的に宣言しました。日本では、政府が人々に求めていることは、家にいることや不要不急の外出を避けることのみで、佐賀では、やっとつい最近になってお店やレストランが閉まり、テイクアウトのみが提供されるようになりました。このことから、私たちが互いに協力すれば、最終的に感染者数は減るだろうし、そうすれば私たちはまた互いの顔を直接見ることができるようになるでしょう。

## 佐賀大学での遠隔教育

「コロナウイルスは教育システムに影響を及ぼした」-これは否定できないでしょう。

日本では2、3ヶ月のうちにコロナウイルスが急速に感染拡大しました。佐賀県でも数人が感染しました。佐賀市では緊急事態宣言が緩和されましたが、佐賀大学ではコロナウイルス感染拡大防止のために全ての学生の入構を禁止しました。今学期は、オンライン授業やEラーニングが増加することに伴って学習方法が劇的に変わり、コロナウイルスの流行は教育を永続的に変化させるでしょう。

まず私たちがすべきことは、この状況を理解することです。最も大切な事は、あなたが安全だと感じる状態で勉強することです。私たちは大学に入構したり通常のように授業に参加したりすることはできませんが、今日ではテクノロジーを利用すること前提とされている状況にあることから、オンラインで学習することができます。オンライン授業を支える多くのプログラムとアプリケーションが組み立てられています。佐賀大学では、オンライン授業を受けたり課題を提出したりするためにMicrosoft TeamsやZoom、Web-ex、Slackが普段使用されています。そして、みんながこれらの使用方法を急速に学んでいるように思われます。



オンラインでの日本語の授業

ところで、学習をうまく行うための秘訣がたくさんあります。まず、勉強場所を確保し、形成しましょう。学習するために良い環境を作り、整理整頓しましょう。そうすることで勉強に集中することができます。次に、時間を管理しましょう。これは言うのは簡単なのですが、実行するのはやや難しいです。それでも、ぜひやってみましょう。早起きを試みましょう。もし、21日以上継続的に早起きすることができれば、自動的に体が早起きするようになります。これは良い始まりです。次のアドバイスは、日程を組むことです。プレゼンや試験の日、課題の提出期限を覚えておくためにカレンダーやノートにその日時を書き込みましょう。加えて、授業に参加することを忘れないようにしましょう。そして、最後に最も大事なことはコミュニケーションを取り続けることです。たとえ友達と滅多に会う機会がなくても、多くのアプリケーションを利用して友達と話することができます。そして、友達やクラスの仲間とオンラインでパーティーを開催することもでき、1人じゃないことを感じることができます。ここにはあなたの仲間がいます。そしてあなたと同じような状況にみんなも直面しています。今は我慢しましょうね。きっとすべてがすぐに元に戻るでしょう。みんな安全に生活しましょう。そして、コロナウイルスの状況がより良くなるように願います！

## 留学生の声

Sinete Mathiro José さん、大学院生、理工学研究科(ベナン)



私の場合、オンライン学習はうまくいっています。トラブルもそんなに多くはありません。このオンライン授業のやり方はみんなを守りコロナウイルスに打ち勝つための良い方法です。個人的に、オンライン授業は、過去の授業を何度も見返す機会をくれま

した。そのおかげで授業後も復習ができるので、学習内容をより理解できるようにになりました。

### Vidushi Gunatilake さん、スペース E (スリランカ)



オンライン授業は、参加するのは簡単なのですが、以前の授業のような活発さがありません。集中するのも難しいです。いくつかの実践的な分野においても、私たちはオンラン授業を通して学習をすることができませんが、効率はあまりよくないと感じます。

### Htet Wai Htun さん、大学院生、電気電子工学科 (ミャンマー)



コロナウイルスの感染拡大のために、日本政府は、緊急事態宣言を出しました。結果的に、日本の大学は遠隔教育（オンライン授業）を率先して提供し、構内は感染予防のために閉鎖されることになりました。個人的な観点から、この遠隔教育は適切な時間を確保できる面から有効なもの1つだと思います。しかしながら

一方で、それを続けることが将来勉強のモチベーションを失うことになりかねないのではないかと思います。理由は、私は大学で勉強することがとても楽しかったし、先生と研究計画についてオンラインで話し合うよりも直接話し合う時間を必要としているからです。さらに、大学でしかできない実験をしなければならない場合もあります。なので、大学への入構禁止が長引けば、このような学術のプロセスも遅れることでしょう。佐賀大学は、決まった時間においての学生の入構を許すなどして代替措置を提供すべきだと思います。

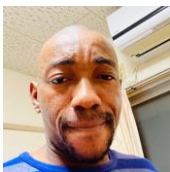
### Fisilmi Azizah Rahman さん、スペース E (インドネシア)



感染者には学生もいました。最初は、オンライン授業に対してとても不満を持っていて、参加するのがとても辛かったです。ですが、オンライン授業が今唯一取り得ることのできる方法だと気づきました。時間が過ぎていくにつれて、このやり方にだんだん慣れてきました。そして私の意見としては、オンライン授業はと

ても簡単だということです。外国人留学生の1人としては、この状況が早く改善に向かい、みんなと対面する授業に参加できることを願っています。みんなに会いたいです。

### Daniel David Omowele さん、理工学研究科 (ナイジェリア)



私にとっては、そうだなあ、、、オンライン授業は、音声やビデオ通話におけるインターネットの接続の問題のために授業が効果的ではないと感じます。加えて、自分の部屋は通常のような学習環境による助けがないので、時々授業への集中力が切れます。

### Hu Jiaojiao さん、スペース E (中国)



私の観点から言うと、全体的に好ましく思っています。初めの段階では、登録するのに少し不便だと感じたり、要求されているのは異なったアプリケーションを使用したりしてしまいました。しかしながら、その段階を過ぎると、通学時間を節約したり、時間の埋め合わせができていたりして授業を受けるのがとても簡単になりました。それでも、もし対面授業が可能であれば、それももちろん好ましく思います。

## 世界でのコロナウイルスの状況

### Vanessa さん、オーストラリアの学生

オーストラリア西部において、政府は国境を閉鎖したり入国するフライトを止めたりするなど早い時期に対策を取りました。隔離された期間、私たちは2ヶ月人々が昔楽しんでたようなゆったりした生活を垣間見ることができました。私たちの周りには多くの土地があり、そこに住むカンガル

一、バンディクート、トカゲ、カササギ、オウム、その他この土地固有の鳥などの地元の野生生物を知る機会がありました。面白かったことは、人々がパニックになり、どこにでも売っているようなトイレトペーパー、消毒液、パスタや小麦粉を持ってしまった一方で、多くの人が種や苗も持って行ってしまったことです。それらは至るところで売り切れており、原則的に自給自足を試みるものとして食糧を早く育てるための食用庭園を植えるということで「危機園芸」と呼ばれています。アルパニーでは、私たちは雑木林の中を歩いたり、地元のほとんど人気のないビーチへ出かけたりなど通常時の学校や仕事における忙しさのない生活を楽しんでいます。悲劇的な状況に関するニュースを絶えず見ることを除いて、ここはとても平和でした。今では、感染者数は非常に少なくなり（5月22日時点でオーストラリア西部では2件残されているのみ）、すべてが再開されています。加えて、私たちを含む多くは、いつもの忙しい生活に戻る必要がないことを望んでおり、どのようにしてよりシンプルな生活を創り出せるかを見つけ出そうとしています。

### Saïde Diaw さん、セネガルの学生

セネガル政府はユニセフを含む重要なパートナーの支援を得て最善の対策と感染予防に努めています。多くの感染対策は非常事態宣言において公表されており、また学校の閉鎖を6月2日まで延長したり、夜の外出時間の制限や国境封鎖、国際線の運行を止めたりしています。社会や経済へのマイナスの影響はすでにセネガルで見られます。加えて、急速に増える感染者数を考慮しつつも、予防のメッセージのより広い伝達や公衆衛生活動、児童を保護するための対策、家での学習支援に力を合わせて努力することが必要とされています。

### Janjira Sukwai さん、タイの学生

タイにおけるコロナウイルスの影響はだんだん改善してきています。現在と3月中旬を比較するとその時は感染者数が1日で百件を超え、それに伴い人々が外出できる時間を4時から10時に制限し、その時間帯に沿って公共の場と職場を閉鎖するようにとタイ政府は非常事態宣言を出しました。その時から、私たちの生活は一変しました。私たちの多くは家で過ごし、不必要な外出をしませんでした。そして感染を防ぐために人との距離が近くなりませんでした。

加えて、私たちにとって最も重要な伝統のお祭りであるソンクランでさえ中止になり、今年は友達とそのお祭りで水の掛け合いを楽しんだり、家族にさえ会ったりすることができませんでした。

このような状況になってから4ヶ月が経ちました。最近では、死亡者は出なくなり感染者が見つかるのも珍しくなりました。隔離期間では景気は緩やかになりました。そして、すべては徐々に良くなってきており、ほとんどいつもの状態に戻ってきているように思います。お店や職場、ショッピングモール、市場など教育施設を除いたすべての場所は徐々に再開されています。ここでの生活は、入り口での体温測定を除いては少しづつつつでの状態に戻ってきています。また多くの人はマスクを着用しており、外出時には互いに距離をとっています。

### Ruta さん、リトアニアの学生

リトアニアでは、3月16日からコロナウイルスによる隔離生活が始まりました（隔離対策が取られました）。まず、基本的に全てが閉鎖され、スーパーなどの食料品店やテイクアウト可能なレストランやカフェのみが営業を続けていました。ほとんどの人は家で仕事をし、マスクは必須のものに（義務に）なりました。その後、少しずつ感染者数は減少していき、今も隔離すべき状況ですが、全てのお店は営業を再開し、また同様にレストランやカフェも営業しています（ただ、屋外の席に座らなければならないですが）。そして気候もだんだん良くなってきており、より多くの人が外出し各々の暮らしを楽しんでいます。

### 編集

フアラバー ビームマバット 工学系研究科博士課程1年  
ジェフリテリリアーディアンサ、知能情報工学科修士課程2年  
ドゥンブッターン・パッチャラポー 理工学研究科修士課程2年  
茶園彩、地域デザイン研究科修士課程2年